



せい
なずな
ごぎょう
はこべら
はとけのぎ
すずな(かぶ)
すずしろ(だいこん)
これぞ七草

春の七草

1月7日は、人日の節句でした。この日は、七草粥を食べる風習があるということを知ったことがある人は多いでしょう。古く中国より伝わり、春の七草を使って作る粥は、1年の無病息災・招福を祈願する風習として食べられています。正月料理で疲れた胃を休め、平常の食生活に戻す区切り

として考えられ、野菜の乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補う役割とされています。

今年度はお弁当の日でしたが、本校の栄養教諭が給食室前に春の七草を用意し、放送で紹介をしました。昼休みには本物を見に来る子供たちや、七草の名前を覚えようとする子供たちがいました。

季節を感じるということは、これからの時代も大切にしていきたいことです。ぜひ御家庭でも話題にしてみてもいいのではないでしょうか。次は節分が話題にできそうです。

(文責 教頭 宮地)

2020年度 学校教育目標「かがやき いっぱい 南の子」

～『おおまつ』の子になろう～

おもいやりを持って行動する

おおきな声で挨拶、発表をする

まじめに勉強、運動をする

つねに感謝と笑顔を大切にする

【磐田南小ホームページ】 <https://iwataminami-e.city-iwata.ed.jp/>